

第71回ボランティア広場概要

「コロナ時代のコミュニティマネジメント」
～「リアル」と「オンライン」のハイブリッド運営を目指して～

1. 日 時：令和4年1月29日（土）14時～16時
2. 場 所：Zoom又はかわぐち市民パートナーステーション会議室1～2
3. 講 師：NPO法人CRファクトリー 間藤 大輔 氏
4. 参加者数：19名（団体所属14名 一般市民5名）
5. 参加方法：Zoom参加12名 会場参加7名
6. 要 旨

日本は、自殺者が年間2万人、孤独死者が年間3万人、児童虐待相談件数が年間16万件、その他にも様々な社会的課題を抱えており、社会課題先進国と言われている。これらの社会課題に共通するのは「孤独」であり、「つながりの希薄」や「コミュニティの弱体化」といった社会的な構造が関係している。「人と人とのつながり」をつくることや、「愛着あるコミュニティ」を増やすことが社会構造を変革し、社会課題を予防・軽減することに繋がる。

直近2年程度は、新型コロナウイルスの影響によって、会議や交流会、イベント等がしづらくなってしまっている。リアルなイベントや打ち合わせは開催しにくい状況であることや、高齢者の感染への配慮、感染への認識の差が理由として挙げられる。

いまはオンラインの時代を迎えており、キーポイントとして、環境を整えること以外にも押さえるべき点がある。オンラインでミーティングをする場合、Zoom等のオンラインツールは、大人数でのコミュニケーションには向かないので、少人数で行い、関係性を深めることが重要である。また、時間を短くし、頻度を増やすことや、雑談や参加者同士の近況報告を行うことでも関係性を深めることができる。オンラインでイベントをする場合は、主催者側から一方的になりやすいため、参加者の意見や感想を聞くことで参加者側にも「参加感」を創り出すことができる。また、無機質にもなりやすいため、参加者への声掛けや、配慮を豊かにし、あたたかい雰囲気を出すことも重要である。これからの時代は高齢者や子どもたちも含めて、多くの人がオンラインでコミュニケーションをする時代になるので、With コロナを機会に、団体のオンライン体制を整え、失敗を恐れずに、オンラインツールを使用してもらいたい。

しかし、コミュニティ活動では、感染防止対策を十分に行った上で、リアルの場を設けることも重要である。換気や消毒、飛沫防止対策や参加者の名簿収集等を行うことで、コミュニティ参加者にとっても周囲のコミュニティにとつ

でも安心感・信頼感を与えることができる。コロナだからリアルな活動を一切しないのではなく、感染状況を見極め、感染防止対策を講じた上で行うといった柔軟な発想を持つ必要がある。



活動を継続し、つながりを持続させるためには、オンラインとリアルの使い分けをする必要がある。例えば、単なる報告や情報共有の会議、情報提供のセミナー等は、場所代や移動の手間がかからず、録画・録音ができ、情報共有がしやすいオンラインで行うべきである。反対に、理念・ビジョンを共有するもの、モチベーション維持や関係性づくりのために行うものはリアルで行った方がお互いの気持ちがよく伝わるので、それぞれの特性を把握し、使い分けるべきである。アフターコロナを迎えても、オンラインでの活動も継続し、必要な場面でリアルな活動を行う方が、団体活動の効率はあがるので、今後はオンラインとリアルの両方を併用する「ハイブリッド運営」を目指してほしい。

これからのコロナ時代の市民活動・コミュニティ活動で大切なことは3つである。1つ目は活動のかたちを変えても継続し、進化すること。情熱や思い、心のエネルギーがあれば、活動は続けられるので、柔軟に進化する姿勢を持ってほしい。2つ目は自分たちの根本を見つめ直すこと。活動のかたちが変わろうとも変わることのない「自分たちの使命・価値」は何なのか。社会的役割や強み等が深く理解できれば、やり方はいくらでも見つけていけるはずである。最後は、中長期的な視野に立つこと。今は不安や混乱の最中であるが、アフターコロナになればミーティングやイベント、懇親会もきっとできるようになる。人間と社会にとっての「コミュニティ」と「つながり」の重要性は変わらず、それを創り出せる市民活動・コミュニティ活動には大いに価値があるので、今後も活動を継続し、一緒にごんばってもらいたい。

当日の様子

コロナ時代に起きていること

- ①リアルな**イベント**が開催しづらくなった
- ②リアルな**ミーティング**がやりにくくなった
- ③高齢者の感染に気をつける必要がある
- ④リアルな場をつくることへの**認識の差**






コロナによって浮き彫りになったこと

新型コロナウイルスは、今まで当たり前だと思っていたものの重要性を浮き彫りにしました

■ **おしゃべり・雑談の重要性**
 リアル・対面の場合にふと発生する何気ない「おしゃべり」や「雑談」が人間にとっていかに大切で楽しいかが認識された。

■ **五感・身体性の重要性**
 目や目で認識するだけでなく、におい(嗅覚)や美味しさ(味覚)、そして手触り・肌触り(触覚)の価値や必要性が認識された。
 リアルな場は、身体性を持って五感をみんなと共有することができる。


参加された方々は、真剣なまなざしで講義を聞き、意見交換では闊達な意見交換が行われておりました。